

アメリカ合衆国対日政策文書集成 フォード政権期文書 刊行計画 (全10期予定)

フォード大統領文書Ⅰ 日米関係

第38期	田中角栄・フォード首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 総2956頁・揃本体300,000円+税
第39期	国家安全保障会議機構文書・日本関係ほか	(全10巻) 総2260頁・揃本体300,000円+税
第40期	国家安全保障会議 東アジア・太平洋地域担当日本関係文書ほか	(全10巻) 総2554頁・揃本体300,000円+税

フォード大統領文書Ⅱ 米中関係

第41期	フォード、キッシンジャー訪中関係文書ほか	(全10巻) 総2292頁・揃本体300,000円+税
第42期	首脳・要人会議録、国家安全保障会議機構文書ほか	(全10巻) 総2990頁・揃本体300,000円+税
第43期	国家安全保障会議 東アジア・太平洋地域担当日本関係文書ほか	(全10巻) 総3152頁・揃本体300,000円+税

フォード大統領文書Ⅲ 米韓関係

第44期	首脳・要人会議録、国家安全保障会議機構文書ほか	(全10巻) 総2936頁・揃本体300,000円+税
------	-------------------------	-----------------------------

フォード大統領文書Ⅳ 主要国首脳会議(サミット)関係文書

第45期	第1回ランブイエ・サミット関係文書	(全10巻) 総2116頁・揃本体300,000円+税
第46期	第2回プエルトリコ・サミット関係文書	(全10巻) 総2124頁・揃本体300,000円+税

ニクソン・フォード大統領図書館新規公開文書

第47期	ニクソン・フォード大統領図書館新規公開文書 (全10巻)	(予備) 揃本体300,000円+税 2020年11月刊行予定
------	------------------------------	---------------------------------

アメリカ合衆国対日政策文書集成 カーター政権期文書 (全5期予定)

カーター大統領文書Ⅰ 日米関係

第48期	カーター大統領海外首脳書簡ほか (全10巻)	(予備) 揃本体300,000円+税 2021年5月刊行予定
------	------------------------	--------------------------------

アメリカ合衆国対日政策文書集成 ニクソン政権期文書 (全18期完結)

ニクソン大統領文書Ⅰ 日米関係

第20期	佐藤榮作・ニクソン首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 総2184頁・揃本体300,000円+税
第21期	佐藤政権期日本・沖縄関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 総3152頁・揃本体300,000円+税
第22期	繊維問題・航空交渉関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 総2560頁・揃本体300,000円+税
第23期	ピーターソン大統領補佐官組織関係文書	(全10巻) 総2554頁・揃本体300,000円+税
第24期	キッシンジャー関係文書ほか	(全10巻) 総3454頁・揃本体300,000円+税
第25期	田中角栄・ニクソン首脳会談関係文書 田中角栄政権期ホワイトハウス文書、天皇・ニクソン会談関係文書	(全10巻) 総4310頁・揃本体300,000円+税

ニクソン大統領文書Ⅱ 米中和解

第26期	国家安全保障会議文書 1971年7月まで	(全10巻) 総2630頁・揃本体300,000円+税
第27期	国家安全保障会議文書 1971年10月まで	(全10巻) 総2576頁・揃本体300,000円+税
第28期	国家安全保障会議文書 1972年3月まで	(全10巻) 総3202頁・揃本体300,000円+税
第29期	キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月まで	(全10巻) 総3110頁・揃本体300,000円+税
第30期	国家安全保障会議文書 1972年3月～12月 キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月～12月	(全10巻) 総3306頁・揃本体300,000円+税
第31期	国家安全保障会議文書 1973年1月以降 キッシンジャー・オフィス文書 1973年1月以降	(全10巻) 総3424頁・揃本体300,000円+税

ニクソン大統領文書Ⅲ 国家安全保障会議機構文書 (NSSM, NSDM)

第32期	国家安全保障会議機構文書 日本・アジア関係	(全10巻) 総2900頁・揃本体300,000円+税
第33期	国家安全保障会議機構文書 中国関係	(全10巻) 総2626頁・揃本体300,000円+税
第34期	国家安全保障会議機構文書 韓国関係	(全10巻) 総2868頁・揃本体300,000円+税
第35期	国家安全保障会議機構文書 国防、核、石油危機	(全10巻) 総3090頁・揃本体300,000円+税
第36期	国家安全保障会議機構文書 年次外交報告・東西貿易・COCOM	(全10巻) 総3204頁・揃本体300,000円+税

国務省文書・ニクソン大統領図書館新規公開文書

第37期	日米外交防衛問題 1973年 ニクソン大統領図書館新規公開文書	(全10巻) 総3242頁・揃本体300,000円+税
------	------------------------------------	-----------------------------

アメリカ合衆国対日政策文書集成 沖縄返還期 (全12期完結)

第8期	日米外交防衛問題 1964年 付・「極東担当国務次官補及び東アジア課主要文書」「ウィリアム・バンディ国務次官補訪日関連文書1964年9月27日～10月1日」	(全10巻) 総3236頁・揃本体220,000円+税
第9期	日米外交防衛問題 1965年 付・1965年1月佐藤榮作首相訪米会議録	(全9巻) 総3016頁・揃本体220,000円+税
第10期	日米外交防衛問題 1966年 付・米国務長官訪日会議録	(全9巻) 総2704頁・揃本体220,000円+税
第11期	日米外交防衛問題 1967年	(全11巻) 総3902頁・揃本体250,000円+税
第12期	日米外交防衛問題 1968年	(全10巻) 総3632頁・揃本体250,000円+税
第13期	日米外交防衛問題 1969年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総3244頁・揃本体250,000円+税
第14期	日米外交防衛問題 1969年・沖縄編	(全10巻) 総2968頁・揃本体250,000円+税
第15期	日米外交防衛問題 1970年 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総3684頁・揃本体250,000円+税
第16期	日米外交防衛問題 1971年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総2840頁・揃本体250,000円+税
第17期	日米外交防衛問題 1971年・沖縄編	(全10巻) 総3196頁・揃本体250,000円+税
第18期	日米外交防衛問題 1972年・日本 政治・外交編	(全10巻) 総2914頁・揃本体250,000円+税
第19期	日米外交防衛問題 1972年・日本 防衛問題および沖縄編 補遺・尖閣諸島関連文書およびトッピング・シークレット文書	(全10巻) 総2650頁・揃本体250,000円+税

アメリカ合衆国対日政策文書集成 安保改定期 (全7期完結)

第1期	日米外交防衛問題 1959-60年	(全9巻) 総3548頁・揃本体190,000円+税
第2期	日米経済問題 1959-60年	(全11巻) 総4604頁・揃本体250,000円+税
第3期	日本の国内事情 1960年	(全9巻) 総3392頁・揃本体210,000円+税
第4期	日米外交防衛問題 1957年	(全10巻) 総3392頁・揃本体220,000円+税
第5期	日米外交防衛問題 1958年 補遺・1960年岸信介首相訪米会議録ほか	(全8巻) 総3020頁・揃本体210,000円+税
第6期	日米外交防衛問題 1955年	(全9巻) 総2940頁・揃本体220,000円+税
第7期	日米外交防衛問題 1956年 補遺・国家安全保障会議(NSC)公式政策文書	(全10巻) 総3664頁・揃本体220,000円+税

アメリカ合衆国対日政策文書集成 アメリカ総合参謀本部 (全2期完結)

アメリカ総合参謀本部資料 1948-1953年	(全16巻) 総5108頁・揃本体480,000円+税
アメリカ総合参謀本部資料 1953-1961年	(全15巻) 総4640頁・揃本体450,000円+税

※品切れの場合、ご要望に応じてオンデマンド出版等を検討させていただきますが、価格が変更となる場合もございますので、ご了承ください。配本回数には増減する場合がございます。

DOCUMENTS ON UNITED STATES POLICY TOWARD JAPAN

アメリカ合衆国対日政策文書集成 (第46期)

# フォード大統領文書

(全10巻)  
Ford Presidential Materials

Ⅳ 主要国首脳会議(サミット)

第2回プエルトリコ・サミット関係文書

L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77

フォード大統領外遊説明文書と電文 1974-76

キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウイング・オフィス文書 1969-77

大統領経済諮問委員会 1974-77

NSC 国際経済関係担当文書 1975-76

監修：石井修

## 米政権の思惑によって わずか半年で開かれた第2回サミット

第2回のサミットは、第1回のランブイエから半年しか経っていない1976年6月27日、28日にプエルトリコで開催された。ランブイエ・サミットの仕掛け人だったジスカルデスタン仏大統領などは、サミットは1回きりの会議とさえ考えていて、唐突な感が否めなかった。

しかし、インフレ再燃が景気回復を押し流しかねず、また経済状態が悪いイタリアで6月に行われる総選挙で共産党の入閣が予想され、米国は欧州各国の共産党の影響力増大に強い不安を感じていた。さらにフォード大統領は、次期共和党大統領候補を決める党大会を前にして、宣伝材料が欲しかった。

サミットの成功によって出席する指導者たちの立場も強まることが予想された。とはいえ、サミットは、共通の課題に立ち向かい問題を予見し、危機的状況の手前で防ぐため努力とみなされるべきで、劇的な成果を挙げるものと見られてはいけないう米政府内の覚悟はサミットを位置づけていた。

本書収録文書からは、第2回サミットが開催された経緯と、米政府が各国政府をどのように見ていたかがうかがえる。

お奨め先

国際関係論	政治学・政治史	アメリカ現代史
中国現代史	アジア現代史	戦後経済史
戦後外交史	日米関係	日本現代史
大学図書館	公共図書館	

◎監修 石井修 (一橋大学名誉教授)  
◎造本体裁 A4判・上製函入  
全10巻・総2124頁  
◎揃定価 本体300,000円+税  
ISBN978-4-7601-5236-0

取 扱 店	
-------------	--

## 柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13  
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337  
URL <http://www.kashiwashobo.co.jp>  
E-mail [eigy@kashiwashobo.co.jp](mailto:eigy@kashiwashobo.co.jp)

# 第2回サミット開催の思惑はなんだったのか？

**Overview**  
The circumstances and concerns of our summit have changed considerably since Rambouillet. Economically most are on the road to recovery; politically, many are and on the domestic defensive. Their respective internal political considerations will weigh heavily at Puerto Rico therefore, and while the image of cohesion will be important for all, hard decisions and additional commitments will be difficult for many.

The general economic situation has brightened considerably since Rambouillet. The crisis atmosphere of last November, in which the ability of the industrial economies to come to grips with the challenge of economic recovery was the central issue, has been largely dissipated, placing us firmly on the other side of the record. Economically, placing us firmly on the other side of the record and in a position to speak with renewed authority. With the exception of Italy and Britain, individual economies are recovering satisfactorily, and recovery is general.

**各国の政治環境分析**  
開催直前に国務省が作成した文書「プエルトリコ・サミットでの政治環境」は、今回のサミット開催の目的など全体像から始まり各国の分析をしている。三木についても、ロッキード後の自民党内の動きなどから夏までの終わりに政権を追われると予想している。【第2巻160頁】

concern for most of the world. The task of balancing the budget and curbing inflation is more difficult than it was. With respect to North/South relations, many are concerned that the gap between the rich and the poor is widening.

THE SECRETARY OF STATE  
WASHINGTON  
June 19, 1976

**MEMORANDUM FOR: THE PRESIDENT**  
From: Henry A. Kissinger  
Subject: Your Meetings with Japanese Prime Minister Miki

**I. PURPOSE**  
The US-Japan relationship continues to be sound. The Lockheed scandal could have caused damage and remains potentially disruptive, but handled by both governments in a manner effecting limiting its importance as a bilateral political issue. In the economic area, both governments have been successful to resolve the problems inevitable in the relationship of such magnitude before Japan has become an economic superpower.

**「日本人はイニシアティブをとらない」**  
サミット後の三木首相との会話についてキッシンジャーは大統領宛文書で、「日本の外交スタイルは典型的に保守的で慎重である。しかし、けっして受動的ではなく、しだいにアクティブになっている」と分析している。【第5巻9頁】

approaches toward many major foreign policy issues. The world view of the United States is changing. The major foreign policy issues are anti-trust problem.

WASHINGTON  
**SECRET/SENSITIVE**  
TELEPHONE CONVERSATION WITH  
PRESIDENT GISCARD D'ESTAING  
Monday, May 31, 1976  
9:30 a.m.  
FROM: Brent Scowcroft

**I. PURPOSE**  
At the close of last week's telephone conversation, in which you discussed inclusion of Italy at the Rambouillet II Summit, Giscard promised to get back to you this weekend after talking with Italian Prime Minister Moro. Your support for an invitation to Italy was based on the conviction that failure to invite Italy would be seen as a rebuff to Italian Democrats and thus severely damaged our position. In a subsequent conversation, Giscard indicated that highly sensitive matters, such as the German situation, Germany, the United Kingdom, and France, so that inclusion of Italy in the broader meeting would not prevent serious and restricted consideration of matters regarding that country.

**イタリア、サミット招待の思惑**  
キリスト教民主党が選挙で不利になり共産党が政権に参加することを米国は懸念し、イタリアをサミットに招待することを望んだ。ジスカルデスタンが電話会談で賛否両方の立場をとったときの想定問答を準備している。【第3巻205頁】

**SECRET/NO DISSEM**  
DEPARTMENT OF STATE  
Memorandum of Conversation  
DATE: April 6, 1976  
SUBJECT: European Economic Stabilization: Rambouillet II  
PARTICIPANTS: Henry A. Kissinger, Secretary of State; Alan Greenspan, Chairman, Council of Economic Advisers; Charles W. Robinson, Under Secretary of State for Economic Affairs; Rutherford M. Poole, Secretary of State for Economic Affairs (Note-taker)

**KISSINGER**  
I like the idea of a second Rambouillet-type meeting. I'm leery about a quick, emergency meeting. Britain has Prime Minister. Schmidt is likely to be negative about a meeting that costs money. His disdain for Italy is total. He has a right-wing problem, as we do here. I'm concerned that he'll be accused of a give-away.

**ぎりぎりまで開催が決まらなかったサミット**  
キッシンジャーは、サミット開催前々月になってもまだ「性急で緊急めいた会議には反対」で、英独仏に根回しする必要があると言っており、検討中だったことが1976年4月6日の議事録から窺える。【第9巻68頁】

I did. He'll do it, but he is concerned about the anti-trust problem.

**「サミットは劇的な成果を挙げるものではない」**  
「このサミットが何か劇的な成果を挙げるものと世間で見られてはいけない。そんなことはどだい無理だ。サミットは工業国の指導者たちが共通の課題に立ち向かい、相互理解を深め、問題を予見し、この問題が危機的状況になる手前で防ぐための努力とみなされるべきである」とグリーンズパン大統領経済諮問委員会議長らはフォードに進言している。【第4巻77頁】

**SUBJECT:**  
THE PRESIDENT  
HENRY A. KISSINGER  
WILLIAM E. SIMON  
ALAN GREENSPAN  
WILLIAM F. FELDMAN  
BRENT SCOWCROFT  
Puerto Rico Summit

**TOP SECRET/SENSITIVE**  
MEMORANDUM OF CONVERSATION --  
June 27 and 28, 1976  
President Ford: On behalf of myself and the President of the United States, I welcome you to Puerto Rico ahead of us in these next two days -- to discuss our concerns, and to identify areas in which we can contribute to the well being of our citizens and the world.

**「共通の課題に立ち向かい、相互理解を促進するのが大事」**  
サミットの議事録の冒頭でフォードは、進言を入れて、劇的な結果が期待されがちだがサミットはそういうものではないと首脳らに説いている。【第10巻95頁】

As we all know, meetings of this sort raise a lot of questions. But the important thing about Rambouillet today, is that they are part of an essential and continuing effort by the leaders of the key industrial nations to address common problems and to improve the world.

one another, and to the world, confers upon us special importance in the economic area, on which we will have a strong common commitment to the well being of our countries and the world.

Recent experience has clearly demonstrated the importance of mutual dependence, common prosperity, and the need to prove highly

## アメリカ合衆国対日政策文書集成 第46期(全10巻)の構成

- 【第1巻】 解題/目次/索引
- 【第2巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77  
国際経済サミット 1976年6月27日-28日 2国間文書説明文書(1)-(2)  
国際経済サミット 1976年6月27日-28日 説明文書 コメント  
国際経済サミット 1976年6月27日-28日 説明文書 完全版 1976年6月19日  
国際経済サミット 1976年6月27日-28日 政治的状況  
国際経済サミット 1976年6月27日-28日 覚書と声明(1)
- 【第3巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77  
国際経済サミット 1976年6月27日-28日 覚書と声明(2)-(4)  
フォード大統領外遊説明文書と電文 1974-76  
プエルトリコ経済サミット 1976年6月27日-28日 一般(1)-(2)
- 【第4巻】 フォード大統領外遊説明文書と電文 1974-76  
プエルトリコ経済サミット 1976年6月27日-28日 一般(3)-(9)
- 【第5巻】 フォード大統領外遊説明文書と電文 1974-76  
プエルトリコ経済サミット 1976年6月27日-28日 一般(10)-(11)  
キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウィング・オフィス文書 1969-77  
経済サミット会議 プエルトリコ 1976年6月(1) インデックスと項目 A-G  
経済サミット会議 プエルトリコ 1976年6月(2) 目次と項目 H-R  
経済サミット会議 プエルトリコ 1976年6月(3) 項目 S-Z
- 【第6巻】 キッシンジャー・スコウクロフト・ウェストウィング・オフィス文書 1969-77  
経済サミット会議 プエルトリコ 1976年6月(4) 項目 AA-DD  
経済サミット会議 プエルトリコ 1976年6月(5) 準備  
大統領経済諮問委員会 1974-77  
経済サミット(プエルトリコ) 1976年6月(1)-(2)
- 【第7巻】 大統領経済諮問委員会 1974-77  
経済サミット(プエルトリコ) 1976年6月(3)-(4)
- 【第8巻】 大統領経済諮問委員会 1974-77  
経済サミット(プエルトリコ) 1976年6月(5)-(8)  
国際経済政策問題  
プエルトリコ・サミット(1)
- 【第9巻】 大統領経済諮問委員会 1974-77  
プエルトリコ・サミット(2)  
NSC国際経済関係担当文書 1975-76  
プエルトリコ・サミット プエルトリコ(1)-(4)
- 【第10巻】 NSC国際経済関係担当文書 1975-76  
プエルトリコ・サミット プエルトリコ(5)-(8)

アメリカ合衆国対日政策文書集成を推薦します(敬称略・順不同)  
元国際教養大学理事長・学長(故人) 中嶋嶺雄 中央大学名誉教授 滝田賢治  
立正大学特任教授 増田弘 立教大学教授 佐々木卓也

# 米国は各国の国内事情について詳細に分析していた